

LEGAL FRONTIER

HE FRONTIER

OBERON

KOTC

Best Gear

Keele

dokka Sapporo

MAVIC

CATACLEAN

大塚技研

Kingelt

KTM



RACE REPORT

SuperTaikyū
Japanese Endurance Race

2023 Round.06

OKAYAMA

Qualify : OCTOBER 21 / 1st RACE: OCTOBER 22 / 1st

PRACTICE

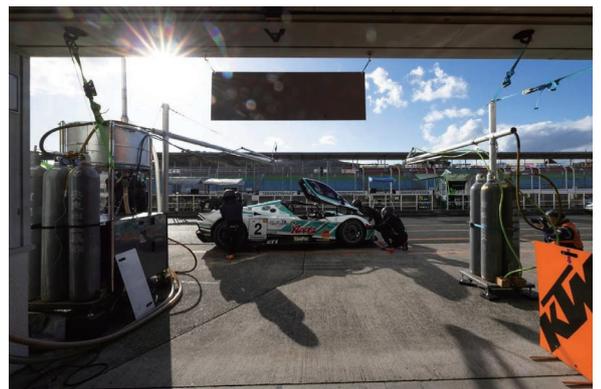
OCTOBER 19- 20 [THU/FRI] FINE / DRY - CLOUDY&RAIN / WET

2023年のスーパー耐久シリーズは残すところ2戦。シリーズ第6戦の舞台は、岡山県の岡山国際サーキットだ。コース長も短く、グループ1/2と分かれての3時間レースで戦うことになる。

シンティアム アップル KTMは第1戦鈴鹿こそトラブルで失ったものの、その後は3連勝を飾りシリーズをリードしているが、ライバルとなる#47 アストンマーティンもポイントでは僅差。最終戦まで気を抜けない戦いが続く。そんな一戦に向け、チームは今回もDドライバーとして吉本大樹を継続して登録。基本的にレースを戦う予定はしていないが、バックアップとして井田太陽/加藤寛規/高橋一穂の3人の走りを支えていくことになった。

迎えたレースウィークは10月19日(木)に行われた午後1時20分からの1時間、午後3時45分からの1時間という2回の特別スポーツ走行で幕を開け、まずは加藤がドライブしセットアップを進めていき、10月20日(金)は午前11時から行われた専有走

行で井田と高橋がドライブしていった。ただ、ここ数戦と同様高橋のタイムがいまひとつ良くない状況だ。「今回は3時間レースで均等割りて戦う予定ですが、高橋さんのペースが重要になりますね」と渡邊信太郎エンジニア。ただ、予選日となった10月21日(土)の午前10時20分から行われたフリー走行では、その課題も改善方向に進んでいった。



PETRONAS
Syntium